

福祉サービス第三者評価

〔令和6年度〕

評価結果報告書

株式会社MIRATZ
MIRATZ本郷保育園

評価機関 有限会社エテルノ

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>（理念）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む ・皆を親しみ愛し、太陽のようにあたたかい心をもった子どもを育む <p>（方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に生活できる環境を整え、丈夫な身体・豊かな感性を育てる ・子どもの自ら育つ力を信じ、見守りと援助をバランスよく行う ・共に育ちあいながら、生きる力を育てる ・子どもの人権を守り、子どもの意思を尊重する <p>（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり一人の個性・意欲を大切にし、生きる力・豊かな心・考える力を培う
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの持つ個性や特性を尊重し、職員や保護者の意見を柔軟に受け止めることができる人。 ・常に高い志を持ち、自ら行動し成長できる人。・思いやりとつくしむ心を常に持ち、人の為に働ける人。 <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に子どもの最善を考え、保育にあたる ・専門職として、より良い保育の質の向上に努める ・地域における役割を理解し、実践していく

調査対象	保育園に通っている園児18世帯19人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。
調査方法	保育園の職員が調査票を保護者へ配布した。記入された調査票は封緘のうえ返信用封筒による郵送、または施設に設置した回収箱により収集した。結果は選択式・自由記述式ともに園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。
利用者総数	19
利用者家族総数(世帯)	18
共通評価項目による調査対象者数	18
共通評価項目による調査の有効回答者数	16
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	88.9

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」68.8%、「満足」25.0%の計93.8%であった。

自由意見では、「子どもの自主性を尊重した接し方をしてくれているように感じます。」「どの保育士も明るく接してくださり、とても大らかな雰囲気を感じます。」「園での姿も毎日伝えてくださるので、子どもの成長も感じられて助かっております。」「など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育などに対する感謝の声が寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関する事など、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「行事日程」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「トラブル対応」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」「不満や要望の対応」などの17問中16問が80%以上の支持を得ている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	16	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「ご飯は座って食べる、トイレの仕方など園で学ぶことは多いです」「0歳児クラスから月齢にあった遊具を揃え、新しい物も導入されることもあり、ありがたいです」という声が寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	16	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「積極的に取り組んでいる姿が伝わってきます」という声が寄せられていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	15	1	0	0
「はい」の回答は93.8%、「どちらともいえない」の回答は6.3%であった。 自由意見では、「栄養のことをすごく考えられていて、助かっております」という声が寄せられていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	13	3	0	0
「はい」の回答は81.3%、「どちらともいえない」の回答は18.8%であった。 自由意見では、「東大や給水所など、身近での四季に合わせた自然を体験させていただいています」という声が寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	13	0	0	3
「はい」の回答は81.3%、「無回答・非該当」の回答は18.8%であった。 自由意見では、「電話一本で対応してくださるので、助かっております」という声が寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	14	1	1	0
「はい」の回答は87.5%、「どちらともいえない」の回答は6.3%、「いいえ」の回答は6.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	14	0	1	1
「はい」の回答は87.5%、「いいえ」の回答は6.3%、「無回答・非該当」の回答は6.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	16	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「毎日の連絡ノートや、園での会話でコミュニケーションがとれていると思っております」という声が寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	15	0	1	0
「はい」の回答は93.8%、「いいえ」の回答は6.3%であった。 自由意見では、「掃除が丁寧でとても綺麗な園だと感じています」という声が寄せられていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	15	0	0	1
「はい」の回答は93.8%、「無回答・非該当」の回答は6.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	16	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「小さな怪我、体調の変化もご報告いただき、適切なケアをしていただけていると思います」という声が寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	13	1	0	2
「はい」の回答は81.3%、「どちらともいえない」の回答は6.3%、「無回答・非該当」の回答は12.5%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	16	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「子どもの話をじっくり聞き、根気強く、対応していただき感謝しています」という声が寄せられていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	16	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	15	1	0	0
「はい」の回答は93.8%、「どちらともいえない」の回答は6.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	15	0	0	1
「はい」の回答は93.8%、「無回答・非該当」の回答は6.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	9	2	1	4
「はい」の回答は56.3%、「どちらともいえない」の回答は12.5%、「いいえ」の回答は6.3%、「無回答・非該当」の回答は25.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	職員と保護者が一体となって保育理念と方針の共有と実践に取り組んでいる 当園では毎年度当初に全職員が集い、理念と保育方針の読み合わせを実施し、共通認識の徹底に努めている。職員室には法人の掲げる「ミッション・ビジョン・バリュー」を掲示し、常に確認できる体制を整備している。同時に毎月の職員会議においてはMIRATZ本郷保育園の保育方針及び守るべき事項を記載し、個々の保育を振り返り確認している。入園時の「入園のしおり」により理念と方針を説明し、保護者へ実践方針を伝達している。さらに年二回の保護者会や運営委員会、毎月の園だよりで園長がメッセージを発信し保育理念の浸透を図っている。	
	明確なビジョンを掲げ、職員のモチベーション向上と保育の質の向上に取り組んでいる 事業計画に基づくビジョンを年度初めに全職員へ共有し、個人面談にて詳細を説明している。園全体の成長と運営の円滑化を目指し、明確なビジョンを掲げ、その実現に向けた環境整備を積極的に行っている。年に二回程度の職員個人面談では、各職員が設定した年間目標を確認し、キャリアビジョンの実現に必要なサポートについて話し合っている。これにより、職員一人一人が強い帰属意識を持ち、ワークエンゲージメントを向上させながら、評価と反省を通じて継続的に成長できる環境を実現している。	
	本部と報告・相談を行い、保護者や職員の信頼を得ている 重要な案件に関しては本部への報告と相談のうえで、園長が決策を下し、法人代表の許可を得ることで遂行している。職員会議では、園が掲げる方針やビジョンに沿った理由を丁寧に説明し、保護者には変更事項が発生するたびに丁寧に口頭及び文書でお知らせしている。重要な意思決定に際しては、現場の意見をしっかりと反映しつつも、当園だけの判断に留まらず、株式会社MIRATZ本部との密な連携のもとで報告・相談し、透明性と一貫性ある運営を実現している。このプロセスは保護者や職員の信頼を得ており、安定した園運営に寄与している。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>多様な意見と要望を取り入れた円滑な園運営と柔軟な改善策の実施に取り組んでいる</p> <p>運営委員会を通じて民生委員や保護者から寄せられる多様な意見・要望を積極的に聴取し、より良い保育提供と円滑な園運営に反映している。具体的には、はなまるスポーツに通う保護者からの引落し口座名の分離要望に迅速に対応し、連絡帳の冊子化についても現在検討中である。また、職員会議では積極的な意見交換の場を設け、個人面談や意向調査面談を実施して現場の考えをしっかりと把握し、柔軟に改善策を取り入れる取組みを継続している。</p> <p>地域の保育ニーズに応えるための情報収集と迅速な対応体制を確立している</p> <p>文京区園長会や文京区内のMIRATZ4園への聞き取り、園長会を通じて地域の保育実情に関する情報収集を着実にを行い、地域が求める保育の提供へと反映させる取組みを推進している。なお、同じ文京区内でも地域ごとに利用対象児の数に大きな差があり、その実情を踏まえた対応が求められている。さらに、本部から保育業界の動向や新たな情報が確認され次第、新聞記事をメールで即時に共有する体制を整え、全職員が最新情報を素早く把握して運営に活かすよう努めている。</p> <p>職員スキルアップと透明な運営を目指した中期事業計画の実施に取り組んでいる</p> <p>中期事業計画書に基づき、職員のスキルアップを重点課題として位置づけ、研修計画の策定と実施により能力向上を図っている。予算編成や財務面の管理は株式会社MIRATZ本部が担い、事業報告書を通じて各施策の達成状況を確認する体制が整っている。職員には業務改善提案書を積極的に提出してもらい、その内容をファイリングし実行に移すことで現場自らが考え行動している。自己評価や人事考課を踏まえ、職員報告を毎月行うことで、運営状況の透明性とPDCAサイクルが効果的に機能し、保育力向上と地域で選ばれる保育所の実現に寄与している。</p>		

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

社会人としての自覚と保育に携わる者としての高い倫理観を常に保持するよう努めている

全職員に年度初めに「勤務するにあたっての注意事項」を配布し、適宜運営規程を読み合わせることで、社会人としての基本姿勢と保育者としての意識を持ち続けることを重視している。この取組により、職員は常に自らの行動を振り返り、遵守事項の確認を実施している。さらに、人事考課と自己評価によって、職務態度が遵守されているかを定期的にチェックしている。こうしたプロセスを通じて、職員が一人一人が責任感を持ち、信頼される保育を提供するための環境を整えている。

重層的な取組により、子どもの安全と健やかな成長を守る体制を確立している

職員間での虐待対応マニュアルの適宜読み合わせを通じ、意識の共有と周知を図っている。また、子ども家庭支援センターや保育課窓口からの情報提供により、虐待を疑う事案が生じた際には恐れず声をあげるよう職員に促している。センターと連携し、細やかできめ細かな対応を心がけており、事前に保護者会でその方針を説明し、理解を得ている。なお、心配が生じる子どもについては担任が綿密に記録を行い、状況を監視している。こうした包括的な取組により、職員と保護者が協力しながら子どもを守るための安全体制を強化している。

地域のニーズを的確に把握し、質の高い保育サービスの提供を行っている

在園児のみならず地域の子育て家庭にも寄り添う取り組みとして、「子育て相談」や「保育所体験」を実施し、家族の安心拠り所となるべく支援を展開している。特に地方出身の核家族や子育て家庭の方々が、より良い教育環境を求める中で、保育園選びに役立つ情報提供を行っている。また、区保育園園長会や株式会社MIRATZブロック会議への参加を通じ、本郷地域の公立・私立園長との情報・意見交換を積極的に実施し、地域全体のニーズを把握して園運営に反映させる体制を確立している。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
<p>子どもや職員の安全を守るための基盤を形成しており、一層の安全確保に努めている</p> <p>災害発生時に迅速かつ的確な対応ができるよう、平常時から職員一同が万全の態勢を整えている。月に1度の災害時避難訓練をはじめ、災害時の食事マニュアルに基づき7日分の非常食備蓄を行い、有事の際における職員の時差退社にも周知徹底している。さらに、月1回の不審者訓練や危機管理マニュアルの整備、ヒヤリハット事例の共有、午睡チェック、そしてフローチャートに沿った具体的な対応策を講じることで、リスクに対して対策を講じている。また、事故簿を作成し、起こり得た事故やヒヤリとする事例を振り返りながら、再発防止に努めている。</p> <p>個人情報保護規定に基づき、取得した情報を適切に管理していることを伝えている</p> <p>個人情報保護に関する厳密な体制を整えており、入社時には職員全員に個人情報保護誓約書の締結を行い、実習生についてもオリエンテーションを通じて取り扱いの注意を徹底している。紙媒体の児童票等の重要書類は、項目別にファイリングし、施錠可能な保管庫に厳重に保管されており、パソコンやタブレットによる情報管理においては、各職員が個別のIDとパスワードでアクセスする仕組みが導入されている。さらに、園長用パソコンのログインIDや、重要書類保管庫の鍵は園長のみが管理するなど、権限に応じたアクセス制限を徹底している。</p>		

カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

採用活動と適材適所の配置で職員の成長と現場の活躍を支援している

採用活動に力を入れており、本部人事部が保育士養成所などを積極的に訪問し、現場と連携した採用活動を実施するとともに、在籍職員の紹介制度も導入しており、紹介による入職者には両者にインセンティブが付与される仕組みで、即戦力となる人材の確保に努めている。採用後の人材配置においては各職員の相性やキャリアを十分に考慮し、将来のキャリアアップにつながるよう、各職員のスキルやポテンシャルを見極めた上で適材適所の配置を行っている。保育現場での一層の活躍ができるように、職員一人一人の成長を支援する体制が整えられている。

職員のキャリアアップを支援し、役割理解と情報交換を促進している

職員のキャリアアップを積極的に支援するため、シフトの調整や研修受講時の賃金支給措置を取り入れるなどしている。区主催の研修や講演会をはじめ、各種キャリアアップ研修に参加することで、最新の知見を現場に取り入れている。研修を受講できなかった職員にも学びの機会が提供されている。株式会社MIRATZの園長研修として専門講師を招いた8回のマネジメント研修を実施し、リーダーシップの向上を図っている。加えて、定期的な主任会、地域貢献リーダー会、栄養士会などを通じ、役割の理解と情報交換の機会を法人全体で行っている。

研修を受けた職員が必ず職員会議で学びの成果を発表し、全職員で共有している

受講者自身が再度内容を振り返り、深い理解を得るとともに、回覧される研修報告書によって、研修に参加できなかった職員も確かな学びを得ることができている。また、職員の自主的な取り組みとして「きづきノート」を作成し、連絡ノートとは一線を画した日常保育の中での発見や気づきを共有することで、業務の改善や保育の質の向上につなげている。各職員が自ら感じ、考えた業務改善提案を提出し、実践するプロセスを通じて、役割や責任感の醸成、そして園の一員としての帰属意識が高められ、全職員が同じ目標に向かって取り組む姿勢が根付いている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は職員の定着を重点課題と捉え、重点目標に離職1名を掲げている。昨年度の重点施策として職員のワークエンゲージメントの向上に取り組んでいる。その結果、重点目標に掲げたことが100%達成できなかった。その原因として考えられることは、目標設定や取組などのプロセスで改善すべき点として、職員の育成を明らかにしている。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、慎重で確かな人選と採用に拡げた取組に発展させている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年度、組織は職員定着を最重要課題と位置づけ、離職1名という具体的な目標を掲げることで、職員の安心感や組織内の安定性を確保する意志を示している。これは、単なる数値目標に留まらず、現場における働く環境の改善と職員ケアに向けた取組として評価できる。その目標達成のため、職員のワークエンゲージメント向上に着目し、一連の施策を実施しました。各職員の働きがいを高め、モチベーションアップを図る取組は、組織全体の活力を引き出し、業務効率の向上にも寄与するものと期待される。現場からは、積極的な改善意欲が感じられ、初動としては意義深い試みと評価できるだろう。しかしながら、掲げた目標は100%達成に至らず、その原因として、目標設定や取組プロセスに改善の余地があったことが浮き彫りになっている。特に、職員育成に関する具体的な戦略や支援策の不足が目立った点は、今後の課題として捉える部分です。こうした反省と検証の結果、組織は今年度に向け、より慎重で確かな人選と採用の取組へと方針を転換している。昨年度の経験を糧にし、職員一人一人の育成と定着を実現するための新たな枠組みに挑戦する姿勢は、今後の持続可能な成長に向けた大きな一歩と言える。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は家庭との信頼関係を重点課題と捉え、重点目標に家庭との連携・家庭支援を掲げている。昨年度の重点施策として行事の見直し・個人面談の実施・クラスだよりの作成、MIRATZ本郷第二園との連携の強化、保護者との積極的なコミュニケーションに取り組んでいる。その結果、重点目標に掲げたことが100%達成できた。その要因としては、職員間での情報の共有をしっかりと行い、それぞれの家庭・保護者にあった支援を継続して行うことが上手く機能したことがよかったと考えられる。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、地域に選ばれる保育園運営に発展させている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行ってなかった(目標設定を行ってなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年度の重点課題は、家庭との信頼関係の構築であり、その目標に向けて、組織的かつ多角的な取組が展開された。行事の見直しや個人面談、クラスだよりの作成など、保護者とのコミュニケーションを重視した取組は、保育園の姿勢を明確に示す意欲的な試みである。これらの取組は、単なる形式的な対応ではなく、職員間の綿密な情報共有によって、各家庭の個性に寄り添った支援を実現した点からも高く評価できる。結果として、掲げた重点目標を100%達成するという、卓越した成果を導き出している。組織的な連携と個別最適化された支援の融合が、保護者との信頼関係の構築に大きく貢献したと言えるだろう。しかし、現状に満足することなく、これまでの取組を徹底的に検証し、さらなる進化を目指す姿勢は極めて重要である。保育の質を継続的に向上させるためには、常に批判的な視点で自らの実践を見つめ直す必要がある。今年度は、昨年度の成果を基盤として、地域に選ばれる保育園運営へと発展させる挑戦的な姿勢を示している。保護者との信頼関係を核に、さらなる保育の質の向上と地域貢献を期待したい。組織的な柔軟性と個別最適支援の継続が、保育園の大きな強みとなるだろう。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリ1の講評		
	<p>デジタルとアナログの両面から情報提供に努めている</p> <p>情報発信の多様化と利便性向上を目指し積極的な情報提供に取り組んでいる。ホームページの開設を中心にFacebookでのタイムリーな情報発信、文京区のホームページとのリンク連携、そして希望者への紙媒体による園案内配布など、多角的なアプローチを展開している。ホームページは、園の特徴や保育方針を詳細に伝える重要な情報発信ツールとして位置づけており視覚的にも分かりやすい情報提供を心がけている。Facebookの活用により日常の保育風景や最新の園の取組をリアルタイムで発信し保護者や地域の方々との情報共有を促進している。</p> <p>保護者や地域の皆様に園の魅力をしっかり伝え、丁寧な見学対応を継続している</p> <p>当園では、見学希望者に対して、子どもたちの保育環境を最大限に尊重しながら、丁寧かつ柔軟な対応を心がけている。見学の基本方針として、原則1日1組の受け入れを基本とし、子どもたちの日常生活や保育活動に最大限配慮した見学体制を構築している。子どもたちが戸外活動を行っている時間帯を見学時間として行っている。見学の目的は、単なる施設案内にとどまらず、園の理念や保育内容を丁寧に伝え、入園希望者に園の雰囲気を感じ取っていただいている。そのため、できる限り園の特色や保育方針を分かりやすく伝える工夫を行っている。</p> <p>情報発信の重要性を深く認識し行政との連携を通じて効果的な情報提供に取り組んでいる</p> <p>文京区のホームページから直接アクセスできる園のホームページを設置し、地域の方々に対して迅速かつ正確な情報発信を行っている。これは行政と保育園の連携を強化し、地域の子育て家庭に対して透明性の高い情報提供を実現されている。文京区のホームページからのリンクは、利用者にとって認知度や利便性が高く、園の情報が容易にアクセスできる環境を整えている。ホームページを通じた情報発信は、単なる基本情報の提供にとどまらず、園の特色や保育理念、日常の活動などを幅広く伝える重要な媒体となっている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2の講評			
<p>サービスの開始にあたり、基本的ルールなど保護者の状況に応じて説明し同意を得ている</p> <p>園では、概ね入園1か月前に保護者との面談を行い、その際には「重要事項説明書」・「入園のしおりを」に沿って、基本的ルールの説明をしている。入園面接では、家庭での子どもの状況、既往歴を含む健康状況、保護者の勤務状況など確認し、面談シートを用いて、保護者の意向や質問など記録し、児童票に追記している。利用契約書は、面談時の説明内容に理解を得られた後、同意を得たうえで、利用契約書を結んでいる。また利用契約書は、保育時間を保護者と確認して記載し、二部に署名と捺印をしてもらい、保護者と園で保管している。</p> <p>子どもの状況にあわせ、入園直後の不安が軽減できるように慣れ保育期間を設けている</p> <p>慣れ保育については、入園時面接で保護者に慣れ保育の重要性を丁寧に伝え、家庭での生活リズムなどをもとに無理なく園に慣れていけるように配慮して行っている。慣れ保育の時間や期間は、2週間を目安に、慣れ保育スケジュールを作成し、食事前・食事後・午睡の様子を2～3日子どもの様子を見ながら、保護者と慣れ保育時間や期間を話し合い柔軟に変化させ対応している。園では、子どもとの愛着関係をしっかりと築く事を大切に、一人一人子どもの様子を毎日記録し、保育者間で共有し合い、子どもに合わせた支援を園全体で行っている。</p> <p>卒園や転園時には、保護者と面談して子育てを共有し、継続した支援を図っている</p> <p>当園は、0～2歳児までの保育園であり、2歳児の卒園の祝いを保護者参加で卒園式をしている。園は、卒園後の連携施設・第二保育園への進級希望、転園・退園、転居予定など希望調査をして、保護者や子どもの不安が軽減できるように面談を設け働きかけている。連携施設・第二保育園への進級では、普段より運動会や夏まつりに参加して、子どもが不安なく、希望を持って進級できるように交流を持ち、職員間でも情報共有し継続した支援を図っている。他園に転園の場合でも、保護者と面談を持ち、子どもの育ちを共有し、今後も相談に乗ることを伝えている。</p>			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3の講評		
<p>子どもの心身状況や生活状況は児童票に記載し、全職員で情報共有している</p> <p>子どもの心身状況や生活状況は、入園時の保護者記載の各書類で、家庭での遊び、生活リズム、食事、発達状況、健康状態、既往歴、接種記録など保護者と確認し、児童票に記載している。子どもや保護者のニーズは、年2回の個人面談をして、子どもの成長・家庭の状況などを保護者と共有し、その時の最善の支援を行い個別指導計画に反映させている。さらに保護者が必要と感じた時には、随時保護者の話を聞くようにして子どもや保護者の状況を把握している。状況の変化の際は、児童票に修正、加筆をして、職員会議で報告し全職員で共有している。</p> <p>全体的な計画をもとに子どもの状況に合わせた年間指導計画を作成している</p> <p>指導計画は、全体的な計画に基づき、各年齢の年間指導計画、月案、週案と、子ども一人一人に合った個別計画を作成している。全体的な計画は、毎年年度初めの職員会で保育所保育指針に基づいて振り返り確認している。特に園の保育目標「一人一人の個性・意欲を大切に、生きる力・豊かな心・考える力を培う」の視点を踏まえ、各指導計画を作成し保育を行っている。保護者には、全体的な保育計画、クラスの指導計画を保護者会で分かりやすく説明している。個人面談では一人一人の個別計画を伝え、保護者と子どもの成長を共有するようにしている。</p> <p>子どもの成長の変化をエピソードノートに記録し、子ども一人一人の理解を深めている</p> <p>園では、毎月、職員会議で子どもの現状を報告し全職員で共有している。指導計画は、保護者と登降園時の会話や、毎日の保護者との連絡帳など、成長過程での変化や情報を成長の記録として電子システムに入力して個人指導計画を作成している。それについてすべての職員がシステムで閲覧でき、情報の共有をしている。また、エピソードノートを作って、子どもの気づきや成長の変化をその都度ノートに記入し、パート職員も閲覧できるように職員室に置き、全職員で一人一人の子どもの細かい個別の変化を共有し、子どもへの理解を深めている。</p>		

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どもに関する情報をやり取りする場合は、保護者に同意を得て行っている</p> <p>個人情報の取り扱いについては、保護者に利用目的や取り扱いを入園時に説明して同意を得ている。Facebook掲載については、保護者に「当社Facebook上の園児の写真掲載了承のお願い」を配布して、目的、場所を明記し説明している。そして写真掲載承諾書に、承諾の可・否を含め、限定した承諾などに同意の署名を得ている。同意以外に利用する場合は、事前に保護者に利用目的を知らせ、同意を得て行っている。ただし、子どもに危険が感じられる虐待や事象の際は、関係機関と情報共有を行う事を、保護者会で保護者に伝えている。</p> <p>子ども一人一人を尊重し、羞恥心に配慮した保育活動をしている</p> <p>園では、「子どもの人権を守り、子どもの意思を尊重する」方針を掲げ、「人権を尊重し、守る保育の実践」など園内研修をして学んでいる。また職員会議やクラス会議で、子どもたちの育つ環境や成長の違いを捉え、その子らしさを大切に、尊重した保育について全職員で共有している。子どもの羞恥心に配慮した保育では、おむつ替えやトイレに行くときには、なるべく一人ずつ排泄のリズムに合わせて行き、それが難しい時には、男女に別れて行っている。特に排便のおむつ交換時は、他の子どもがトイレに入らないように配慮している。</p> <p>子どもと保護者の価値観を尊重し、関係機関と連携して保護者への支援をしている</p> <p>園では、入園前に保護者としっかり面談を行い、それまでの家庭生活の様子を聴きながらできる限りの生活習慣に配慮している。授乳用ミルクについては、園で使用しているミルクを紹介しながらも、保護者から他ミルクの要望があった場合には、要望に沿って対応している。虐待防止や育児困難家庭の支援に向けては、職員研修で得た学びを、職員会議で報告し職員間で学びを深めている。「こども家庭センター」の訪問時に受けた助言を職員間で共有し理解を深め、気になる子どもについて細かく児童票に記録して残し、子どもや保護者支援に繋げている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>園として統一された質の高い保育を実現するための指針としてマニュアルを活用している</p> <p>保育の質と安全性を確保するため、包括的かつ詳細なマニュアル整備に注力している。調理業務、戸外散歩、衛生管理など、園における重要な業務手順を明確に文書化し体系的に管理している。これらのマニュアルは園外保育記録簿や衛生管理記録簿などを通じて日々の実施状況を確認し、必要に応じて自治体の助言を取り入れながら継続的な見直しを行っている。特に注目すべきは常に職員が手に取りやすい書庫に常備し、常勤・非常勤を問わず全職員がアクセス可能な環境を整えている。これは組織としての一貫性を保つ上で極めて重要な取組と言える。</p> <p>園全体での意見交換と改善を促し、持続可能な保育環境の構築を支援している</p> <p>保護者が求める支援や自治体の要綱変更に応じたより良い保育提供を目指し、新年度が始まる前に見直しを行っている。また、年に2回の運営委員会では、保護者の意見を伺い、職員の意見も交えながら、園のしおりに記載されている園運営内容について都度検討を行っている。保護者と職員が一体となって意見交換を行い、常に時代の変化や保護者のニーズに応じた柔軟な保育運営を実現させている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>子ども一人一人の発達過程や生活環境など把握して保育を進めている</p> <p>子ども一人一人の発達の過程や生活環境などは、入園時に「入園までの生活状況」「健康記録」「児童票」など各書類を保護者に提出してもらい常に把握している。日々の子どもの状況は、保育日誌や児童票に記載し、連絡帳をその都度見返し、保護者と情報の共有をして、子どもの全体的な姿を把握して保育を行っている。園では月1回の職員会で各クラスの子どもの状況を確認し共有し、また、エピソードノートを活用して、子ども一人一人の発達や状況をきめ細やかに把握して保育を行っている。</p> <p>子ども同士が年齢や文化の違いを知り楽しめるように、機会を作り働きかけている</p> <p>当園は、0～2歳児の保育園で基本的にクラスの生活を主にしている。異年齢での関わりでは、園児数が少なく、登園後や降園前の合同保育時間を利用して、異年齢と一緒に絵本や玩具で遊びを楽しめるようにしている。そして、異年齢の関わりを通して、子ども同士で楽しさを味わえるように保育を進め、思いやる言葉かけに心がけている。子どもたちが、異年齢や文化の違いを知り尊重した心が育つように、連携施設の子どもの出張コンサートや運動会の参加や、近隣の高齢者施設を訪問して様々な年齢の人や文化と関わる機会を作って働きかけている。</p> <p>子どもの同士のトラブルは年齢や発達を考慮し、子どもの気持ちを尊重し対応をしている</p> <p>言葉が出ない乳児では、成長の過程で感情の高ぶりや興味が、噛みつきや引っかき傷などの行動となって現れることを、クラスだよりや懇談会などで伝え理解を得られるようにしている。トラブルが起きた時には、一人一人の子ども思いに寄り添い共感して、謝ることを強要せず「今どんな気持ちだった」と問いかけ、相手の痛い思いも伝えて、お互いの思いを尊重した言葉かけを心がけている。園で起きた怪我は、基本的に園の責任と考え、誰とのトラブルかを知らせていない。園では、保護者に怪我、噛みつきが起こった状況を伝え保護者に謝罪している。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排泄などの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には、子どもの視診を行い、家庭での様子を保護者と確認し保育に反映させている</p> <p>登園時には、子どもの視診を必ず行い、保護者と家庭での子どもの様子を会話して確認して受け入れている。保護者と確認した内容は、登降園ボードに記入して全職員で共有している。保護者の連絡は、職員連絡ノートに記載して回覧し、必要な場合は口頭でも報告して全職員で把握するようにしている。また、子どもの体調など変化が見られる場合は、日中の活動や睡眠、栄養士と相談して牛乳を温めたり麦茶に変更したり、子どもの体調に合わせて対応している。園では、当日の子どもの様子を全職員で共有することで、継続した丁寧な保育に繋げている。</p> <p>保護者に基本的な生活習慣の大切さを伝え、発達に応じて身に付くように援助している</p> <p>園では、基本的な生活習慣についての情報を保護者会やお便りで、保護者に発信している。クラスでは、子どもの月齢やその日の睡眠状況、体調に合わせて午前寝、午後寝などを保障している。0歳児の離乳食では、栄養士を交えて子ども発達状況を踏まえたアドバイスを保護者に行い、家庭と連携して進めている。トイレトレーニングは、子どもの排泄間隔を把握して、保護者と協力体制を整えて働きかけをしている。園では、家庭での生活リズムに配慮しつつ、保護者の困っていることなど個別相談に乗り、生活リズムが確立できるように支援をしている。</p> <p>降園時には、子どもの日中の様子を保護者に丁寧に伝え、信頼関係を築くようにしている</p> <p>降園時には、子どもの一日の状況を、クラス担任や、遅番保育士が丁寧に保護者に伝えるようにしている。園では、日々の活動を登降園ボードに記載し、その内容を確認しながら、どの職員も子どもの様子を伝えられるようにしている。降園時には、連絡ノートやエピソードノートに記載して子どもの成長や変化など、日中の子どもの様子を保護者に伝え信頼関係を築くようにしている。子どもが園生活を無理なく家庭と変わらぬ安心した環境で過ごせるように配慮している。今後、園の様子を写真で連絡帳配信し、システムを活用して保護者との共有を考えている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが身の回りのものに親しみ、興味を持って遊びを楽しめる環境づくりをしている</p> <p>園では、子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめるように、玩具は子どもの発達に合わせた玩具を配置して、子ども自ら遊びたいものを選び、取り出せる位置に置いている。室内では、子どもが興味を持った物でじっくり遊べるように、職員の配置を考慮して見守りを行っている。また、子どもの興味・関心、発達に応じて職員間で話し合い、パズルを出したり、玩具を入れ替えたりして、子どもの様子を見て環境づくりをしている。友だちと関わって遊びを楽しみたい子には、玩具の数を揃えて用意して子どもの欲求を満たされるように配慮している。</p> <p>子どもの喃語や表情、身振りによる応答的なやり取りを楽しみ、言葉の育ちを育んでいる</p> <p>園では、手遊びやうた遊びを通して、子どもとの触れ合い遊びを楽しみながら、子どもが言葉に親しみ自ら言葉を発することを大切にしている。子どもが発する言葉や表情、身振りに応答的な関わりを持ち、子どもが自由に楽しめるように共感の言葉をかけて受け止めるようにしている。その時には、できるだけ落ち着いた声で、子どもの思いを言葉にして伝え、言葉への理解や意欲に繋がられるように働きかけを行っている。子どもが、知り得た言葉を使って表現する喜びが得られるように、子どもの質問や発した言葉に共感し、自由に表現を楽しめるよう取り組んでいる。</p> <p>天気の良い日には、積極的に散歩に出かけ季節の変化を感じられるように取り組んでいる</p> <p>天気の良い日は、ほぼ毎日0～2歳児までの全クラスで戸外活動を行っている。戸外活動では、目的に応じて行き先を決め、大学構内では自然と親しめる環境にあり、草花の変化や、風の心地よさや冷たさなど五感を使って季節の移り変わりなどを楽しんでいる。園では、戸外遊びを通して自然に触れ、虫など生き物にも出会い「なんだらう」「見つけた」を重ねる体験を多く積み重ね、子どもたちに探求心や達成感を育てている。戸外遊びでは、探索活動と共に、広い場所で外の空気を吸いながら思い切り身体を動かす心地よさを味わい楽しめるように配慮している。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>季節の行事を大切に子どもが興味や関心をもって取り組めるよう工夫している</p> <p>園では、伝承行事を大切に七夕会・お月見会・節分会・ひなまつり会など行っている。子どもたちが、日常生活の中での行事を知り、親しむことを第一に考え絵本やペープサートなどを用いて、行事の由来を分かりやすく伝えている。また、行事の遊びや制作を通して親しみ、喜びを持って行事に参加できるように取り組んでいる。各行事は、担当者を決め、事前に手遊び歌をクラスで導入して、0歳児も一緒に手遊びをして楽しさを感じながら行事に参加できるように配慮している。子どもたちは行事を通して行事食を体験し、季節を知る機会になっている。</p> <p>日々の子どもの遊びを豊かに育み、楽しさを味わえるように援助している</p> <p>0～2歳児の当園では、運動会や発表会など実施していないが、「親子お楽しみ会」を行い、全園児と保護者が参加して一緒にダンスや身体を動かして、親子の触れ合いを楽しんでいる。2歳児は、卒園式を通して、お互いの成長を喜び合う行事を実施している。子どもたちは、日々の保育の中で、「いらしゃいませ」とお店屋さんになり、ある時には消防士になって「あっちに火事だ。火を消そう」と、友だちと一緒に役になってごっこ遊びを楽しんでいる。園では、ごっこ遊びを大切に、子どもの創造力を豊かに育み、楽しさを味わえるように援助している。</p> <p>保護者には年間行事予定を事前に知らせ、計画を立てられるように配慮している</p> <p>園では、保護者の参加行事を事前に案内と共に、出欠のアンケートを事前に取り参加の依頼をしている。折々の行事は、園日よりクラスだよりで知らせている。親子行事の「節分会」は、近隣の小学校体育館を借り、参加しやすいように土曜日に行っている。節分会では、鬼がパンツ・かつらをと付けて徐々に鬼に変身して、親子で作った新聞紙の節分豆を鬼に投げて、親子で楽しむ機会になっている。保護者には、行事の準備をしている子どもの様子を伝え、時には七夕行事では保護者にも短冊に願い事を書いてもらって飾りなど、保護者の協力を得て行っている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている</p> <p>当園は、7時15分から19時15分まで開園し、月極延長保育とスポット延長保育を行っている。延長保育利用の子どもには、補食と麦茶を共に提供している。延長保育は、18時15分から19時15分まで行っているが、今年度は延長保育利用をする子どもがいない。保護者の急な残業の場合は、スポット保育を利用し、その場合も子どもがくつろぎ、安心できるように一つの保育室を使用して、できるだけ環境を変えないようにしている。また、保育者との関わりをじっくり持つように、子どもの状況を見て職員体制を配慮し人的環境を整え行っている。</p> <p>保育形態の変化がある場合でも子どもが楽しく過ごせるよう工夫をしている</p> <p>園では、保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるように固定のパートさんと正規職員の複数体制を作り、子どもが安心できる環境づくりをしている。また、通常保育時間とは違う玩具を用意するなど配慮している。園では、長時間が苦痛にならないように家庭的な雰囲気づくりをして、体を休める場所を設けたり、子どもの求めに応じて抱っこして一対一で絵本を読んだりして甘えたい思いも受け止め対応している。園では、一人一人の子どもに寄り添い、子どもの声に耳を傾けながら楽しく過ごせるようにしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作り配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>子どもが楽しく食事を食べられるように、一人一人のペースを大切に援助している</p> <p>園では、食事を楽しく食べられるように、月齢や発達状況によって席の並べ方を配慮している。0歳児では、保育者1名に対して2名までの担当制をとって、同じ保育者が食事の介助を行い、それぞれの子どものペースを大切に援助している。離乳食期には、別途に野菜をスティック状に工夫して提供し、子どもが自ら食べようとする意欲を育てている。栄養士は、子どもの喫食状況を見てまわり、保育者と連携して子どもの発達や好みを把握し、食材の形状など検討し次回の献立に反映させて、子どもが楽しく食べられるように取り組んでいる。</p> <p>子どもたちが季節の食材に触れ、食への関心を深める取り組みをしている</p> <p>園では、子どもたちが「食」を楽しめるように、発達状況や、味覚、栄養に配慮して給食やおやつを提供している。給食は、季節感や彩りなど見た目も大切にして、子どもの好き嫌いを考慮しながら工夫し、2週間のサイクルメニューを取り入れて、料理や食材に慣れて楽しく食べられるようにしている。子どもたちが食への興味や関心を持てるように、給食で使用する食材の下処理や、栽培して収穫したきのこを、子どもたちの目の前でソテーをするライブクッキングをして、漂う美味しそうな匂いを嗅ぎ、食材が料理に変化する過程を学び、食の関心を育てている。</p> <p>対応食について、配膳者・提供者・確認者の3段階で確認し、誤食の防止をしている</p> <p>食物アレルギーについては、保護者から「アレルギー対応確認書」「生活管理指導票」を提出してもらい、保育士、栄養士で面談を行い、基本的に除去食対応をしている。場合により、子どもの口内に傷ができて、通常の食事が難しいときは、硬さや形状を変えて食事を提供している。アレルギー対応食では、食器・トレイを黄色に変え、プレートの名前に給食と口頭で確認し、配膳者・提供者・確認者の3段階でチェックした上で、アレルギー食を提供している。保護者には、事前に献立表をチェックしてもらいと確認のサインを得て、誤食防止を行っている。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		○非該当
評価項目7の講評			
<p>子どもが自らの健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防できるように援助している</p> <p>保健計画を作成し、保育士と連携して子どもたちの怪我の防止に努めている。戸外遊びでは、追いかっこなど全身運動をして体力の増進を図り、子どもたちの安全に配慮して楽しく遊べる場所や時間を考慮して行っている。園では、毎月の身体測定、0歳児健診、年2回の内科検診、年1回の歯科検診、また、歯科医師によるはみがき指導などを受けて、子どもが自分の成長や健康に関心を持つように援助している。鼻水のかみ方や手洗い指導では、清潔にすると気持ちのいいことを子どもたちに気づかせるようにして働きかけている。</p> <p>配慮が必要な子どもについては、主治医と情報を共有し子どもの心身の健康を図っている</p> <p>園では、囁託医による検診を受け子どもの状態を共有し、怪我や体調の変化が見られる場合は受診をしている。また、必要に応じて主治医との情報を共有している。熱性けいれんの既往歴のある子どもには、保護者に対応についての確認書を渡して、希望する保護者には、主治医の与薬指示書と共に座薬を預かっている。現在は、看護師が不在のため、配置をするよう努め、現在は園長が責任をもって対応している。子どもが、ストレスなく過ごせるように、過度な装飾を減らして環境を整え、心身共に健康に過ごせるように配慮している。</p> <p>子ども一人一人の健康維持に向けて、保護者と連携をして取り組んでいる</p> <p>園では、毎月「ほけんだより」を発行して、季節で流行する感染症は保護者に早め知らせ予防している。感染症発症の際は、掲示して保護者に知らせ治療後は保護者記載の登園許可書を提出依頼している。乳幼児突然死症候群(SIDS)は、保護者に入園面接時にリスクなど知らせ、自治体からの注意喚起のお知らせを配布し、ポスターも掲示して周知を図っている。午睡の時には、部屋を暗くしない、湿度・室温を常にチェックして、0歳児は5分おき、1・2歳児は10分おきに体位の記録を残し、午睡中はしっかりと子どもを見守ることを厳守している。</p>			

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者の様々な事情を理解し、情報を共有し信頼関係を深め支援をしている</p> <p>園では、子育てや就労等など様々な事情で利用している保護者を職員が理解し、子どもの最善を第一に考えながら、登園時間や保育時間を配慮している。職員は、保護者との日々のコミュニケーションを大切にして、いつでも悩みに応じて園長・副主任・担任・栄養士との面談を設け対応している。保護者の抱える不安や悩みに対して応えながら、相談できる機関の存在を保護者会でパンフレットを配布して知らせている。また、保護者からの抱える悩みの内容によって、区の子ども家センターとの連携を深めながら、情報を共有して丁寧な支援を行っている。</p> <p>保護者の子育ての悩みを共有し、保護者同士の交流を深める取り組みを工夫している</p> <p>園では、「孤育て」の家庭が多いなかで、保護者同士の情報交換や、共に支え合い、子育ての喜びや不安を共有できるように機会をつくっている。年2回の保護者会では、クラス別の懇談会を行って、一人ずつ自己紹介をして、家庭での子どもの様子や困っていることを話してもらっている。特に、家で困っていることでは、保護者同士で意見交換し合い、終了後には、仲良くなって保護者同士で児童館に出掛けたりしている。保護者が、一人で抱えている子育ての悩みを、保護者同士で共有し交流を深められるように、懇談会を含め機会をつくり支援している。</p> <p>保護者の養育力向上にむけ保育参加を行い、子育ての共通認識が持てるようにしている</p> <p>園は、懇談会・個人面談・保育参加を設け、子どもの発達や育児について共通認識を得る働きかけをしている。今年度から保育参加を行い、園での子どもの様子や保育者と子どもの関わり方を見てもらい、子どもの姿を共有して家庭での養育に活かしてもらおうとしている。保育参加の日程は、11月～12月の期間を設け、登園時から給食後まで時間を行っている。園では保育参加に向けて、保護者には、保育参加の流れと担任からの「指導月案・週案」を事前に目を通して参加してもらい、実際の保育を通して子育ての共通認識が持てるようにしている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
評価項目9の講評			
<p>地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流をして生活の幅を広げている</p> <p>園では、地域の豊かな環境を利用して、子どもの多様な体験や交流ができる機会をつくっている。散歩では、カートや徒歩で自然豊かな大学構内に出かけて戸外活動を楽しんでいる。また、系列園のスポーツ施設を利用して、思い切り身体を動かして楽しんでいる。親子競技を行う際には、小学校の体育館を借りて広い場所で伸び伸びと活動している。子どもたちが、地域の人々に支えられて生活していることを感じられるように、消防署見学で消防士さんと交流し、散歩の際には、積極的に挨拶を交わして生活の幅を広げ、子どもが豊かに育つように行っている。</p> <p>地域の人や園外の人との出会いを通して、世代間交流を楽しんでいる</p> <p>園では、地域と育ち合う園となるように、高齢者施設を訪問して、1・2歳児がクレヨンで描いたのを大きな花束にしてプレゼントにして贈り、一緒に歌を歌い、手遊びをして交流している。近隣図書館では、出張おはなし会に年4回～5回来てもらい、0～2歳児の子どもたちに大型絵本を使用して読んでもらったり、歌遊びしたりして一緒に楽しんでいる。また、地元中学校の職場体験を受け入れ、子どもたちが、様々な年代の人との交流の機会をつくり、子どもたちが職員以外の人との交流できる機会をつくっている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル①	エピソードノートを活用して、子どものちょっとした変化も共有している	
内容①	園目標に「ひとり一人の個性・意欲を大切に、生きる力・豊かな心・考える力を培う」を掲げ、一人一人の持つ個性や特性を尊重した保育が展開できるように環境を整えている。職員会議の際には担任保育士より子ども一人一人の現状について報告を行い、職員間で子ども一人一人の理解を深めている。また、日常のちょっとした気づきや成長の変化を記入し合う「エピソードノート」を事務室に置き、子どもたちの細かい変化の共有に活用している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	個々の子どもの成長発達を考慮し、細やかな心配りをして豊かな環境づくりをしている	
内容②	子どもが主体的に活動をして自ら選択して遊べるように、発達に合わせた玩具を配置し室内環境を整えている。0歳児の歩きはじめの子には、子どもの目線の高さにボードを設定して、固さ・大きさなど素材の違う玩具を吊るし、床には気泡緩衝材を貼り、子どもたちの五感を促す遊びを大切にしている。1・2歳児には、斜面のぼりができるように牛乳パックを使用して斜面のぼり台を作り、子どもたちが登ったり滑ったりして、楽しく遊びながら身体の体幹やバランス感覚を育てる環境づくりをしている。園は、様々な工夫をして豊かな体験の機会を作っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	様々な季節の食材に触れる機会を作り、調理活動を通して食への興味や関心を促している
	内容	園では食育年間計画を作成し、旬の食材を使い、見た目や匂い、触感、食感の違いを楽しめるように、夏には冷たい物を冬には温かい物を献立に取り入れ、季節の移ろいを感じられるように献立作りをしている。食育活動では、原木からきのこを栽培して育て、観察して収穫して食べている。収穫したきのこは、子ども自らを割いて料理の下準備をし、給食が目の前で料理して、漂う匂いを嗅ぎながら、子どもたちに食材から料理になる過程をライブクッキングして分かりやすく伝えている。給食では、様々な季節の食材に触れる機会を作り、食への関心を促している。
2	タイトル	季節の変化を、五感を通して体感できるように散歩活動に取り組んでいる
	内容	園は、0～2歳児の小規模保育園であるが、天気の良い日はできるだけ散歩に出かけ、自然に触れる機会を積極的に行い、四季を感じられるよう戸外活動に取り組んでいる。散歩活動では、季節の変化を肌で感じ四季を知り、春には虫や草花を見つけ、秋には散歩バッグを持って出かけて、落ち葉や木の実を拾いバッグに入れて楽しんでいる。大学構内の散歩では、自然に恵まれた環境にあり、茂みの中に入って探索活動をし、どんぐりや様々な木の実を見つけた時の子どもたちの「あった」と発見の喜びを大切に、五感を豊かに育み成長を促している。
3	タイトル	地域との関わりを大切にして、子どもたちに豊かな体験をして生活の幅を広げられるようにしている
	内容	園では、地域の保育園として、繋がりを大切にして開かれた保育園に努めている。給食の食材は、地域の八百屋・魚屋さんに毎日届けてもらい、子どもたちは顔を見ただけで「お肉屋さんでえす」と給食室に声をかけ、顔なじみになっている。園での子どもとお店屋さんとの親しい関わり画像、保護者の買い物時にも発展して、地域での温かな交流の機会になっている。子どもたちが、地域にある様々な公園など利用し自然に触れ、思い切り体を動かす楽しさを体験し、図書館から出張おはなし会・消防署見学など、生活の場を豊かに広げられるようにしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園の方針などについて理解が深まる取り組みを更に進めていくことに期待したい
	内容	園では、年度当初に全職員が集い、理念と保育方針の読み合わせを実施し、共通認識の徹底に努めている。職員室には法人の掲げる「ミッション・ビジョン・バリュー」を掲示し、常に確認できる体制を整備している。一方で、職員自己評価結果より、事業所が目指していることへの理解などについて、やや自己評価が低い傾向が見られた。保育理念や園目標及び福祉サービスに従事する者として守るべき法、規範、倫理などを理解させ、周知徹底する取り組みへの更なる工夫の検討に期待したい。
2	タイトル	園としてリスクマネジメントに取り組んでいるが、さらに大規模災害に備え、事業継続計画(BCP)の策定に期待したい
	内容	事故や感染症、侵入や災害、経営環境の変化など、保育所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスクを洗い出し、避難訓練の実施や食料・飲料水などの備蓄をしている。一方で、自園に沿ったBCPの策定については、重要な課題になっている。大規模災害発生後に早期に園の運営を再開できる対策を講じるために園の保育活動を継続化するために必要なリスクへの対応など、速やかに保育活動を再開するためのプランを策定しておくことが重要であると考えられる。想定されるリスクを整理し、大規模災害に備えたBCPの策定に期待したい。
3	タイトル	事務作業に集中できるノンコンタクトタイムを工夫して作るなど、ライフワークバランスのとれた職場環境の構築に期待したい
	内容	働きやすい職場づくり、いつまでも働き続けたいと思える職場となるように、有給休暇をしっかりと希望通り取れるようにシフトを作成し、振休もできるだけ希望通り取れるよう配慮している。日々の保育では、事務作業に集中するノンコンタクトタイムを設けることや残業の削減について課題がみられる。必要な人員体制を本部と連携して強化し、ノンコンタクトタイムの取得やより一層の業務効率化を図り、ライフワークバランスのとれた職場環境の構築に期待したい。